



數學夜話





理学部 和 遼及  
 022132002013654  
  
 九州大学蔵書

九州帝國大學工科大学  
 802806  
 大正七年十月十六日  
 數學物理學教室

學夜話上

數ノ盪觸ノ話

數學算學ノ話

同権輿ノ異同

算學大要ノ話

八算見一ノ話

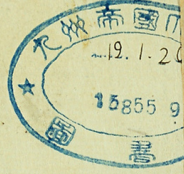
算法占法ノ話

時ノ鐘鼓ノ話

一尋ノ話

酒令ノ話

九州帝國大學理学部  
 7.35  
 物理學教室



九州帝國大學工科大学  
 802806  
 大正七年十月十日  
 數學物理學教室

九州帝國大學理學部  
 7135  
 物理學教室

學夜話上

數ノ盪觸ノ話

數學算學ノ話

同權輿ノ異同

算學大要ノ話

八算見一ノ話

算法占法ノ話

時ノ鐘鼓ノ話

一尋ノ話

酒令ノ話

大正七年十月十日



九州帝國大學工科大学  
 802806  
 大正七年十月十日  
 數學物理學教室

九州帝國大學理學部  
 735  
 物理學教室

數學夜話上

數ノ盪觴ノ話
數學算學ノ話
同権輿ノ異同
算學大要ノ話
八算見一ノ話
算法占法ノ話
時ノ鐘鼓ノ話
一尋ノ話
酒令ノ話

周天里數ノ話

磁石ノ話

和漢錢貨ノ話

九十六省百ノ話

一貫文百疋ノ話

和漢金貨銀貨ノ話

四分一兩ノ話

文字ノ話

天文曆學ノ話

數學夜話上

華洛 近藤遠里答

中秋月ノ明朗タルニ一ニ友ト茗ヲ煮テイト  
 ト往事ノ思ハレ吾ノミナラヌ秋ノ悲シサモ虫  
 邑ノ唧々タルニナラマサリテ實ヤ他郷ニ在  
 シカハ如何許リ古郷ノ戀シカラメト李白カ詩  
 モ更ニ思ハル、ナトウチ物語ルニ杉知一曰暑  
 往寒來リ何事ヲ為コトモナクムナシク白頭ニ  
 イタラニ<sup>フキナキ</sup>魚<sup>イサ</sup>為コトニコフアレト愚曰ヨシ  
 レトテモ命ナリ蜻蛉ノ一日モ彭祖カ七百歳モ  
 歸根復命ハ相同シク其長短ハ數ナリ人事ヲ尽

スノ上ハ何ヲカ歎キ何ヲカ悲シト知一曰  
足下數學ヲ學ブカ故ニ共言アリ我輩ヲ數學ヲ  
シラス命數ヲアキラメンヲ難シ愚曰嗚呼コレ  
何ノ謂フヤ命ヲ知ルニ至リテハ孱夫ノ能及フ  
所ニアラス大聖ナヲ五十而知天命況ンヤ斗肖  
ノ人ヲヤ愚カ學フ所ハ小技算數ノ數ニシテ卑  
下ノ事ナリ然レモ其原々ヲ探レハコレ易學ノ  
數ニシテ聖人説ク所ノ數ナレハ階梯ニアラス  
氏言難シ水之長曰數學ニヨル所ノ一二ヲ擧テ  
二三子コレヲ問ン閑語ノ慰ミトモナラン足下

コレヲ答ヘヨ愚曰聞傳フル所ノ事ニ於テハ何  
ヲカ惜<sub>ニ</sub>ン不知ニ至リテハ不知トセンノ<sub>ニ</sub>二  
三子慰<sub>ミ</sub>ニ思ヒ出ル所ヲトヘ  
之長曰數ノ盪觴如何

愚曰為數言也源遠シ夫理アレハ氣アリ氣アレ  
ハ形アリ形アレハ數アリ理氣形數ハ離ルヘカ  
ラス老子曰無名天地之始有名萬物之母太極ハ  
理ノ別名ニシテ事理ノ祖ナリ朱子曰太極所<sub>以</sub>  
指<sub>ニ</sub>天地萬物之根也故太一肇判陰降陽升陽一以  
施陰兩而承惟皇昊羲仰觀俯察奇偶<sub>既</sub>陳兩儀斯

設焉然ルトキハコレ三才ノ道備リテ後コノ數ヲ制作シタルニハアラサルナリ

知一曰數學ト算學ト其學フ所異ナルカ又ハ二名ニシテ相同シキカ其異別如何

答曰數學ハ大事ナリ算學ハ小技ナリ世人其理ヲシラズ算士トイヘ凡其異別ナシト思フ者多シソレ數ハ體ニシテ算ハ用ナリ抑數起一成於十天地之數也今試ニ問曰天地之數幾何答曰惣數五十五術曰列天地之數加一而以天地之數象之而折半之得五十五合問也惣數ヲ知ント欲

シテ如右布算コレ算術ナリ習之コレヲ算學ト云所謂數起一成於十ソノ然ル所以ヲ學フコレヲ數學ト云算ハ藝ニシテ數ハ藝ニアラス六藝ノ尾ニ居ルモノハコレ體用ヲ統ルノ謂ナリ蓋シ天ノ能覆フトコロ地ノ能載ルトコロ孰レカ數ニアラストセンマ三才ノ道ミナ數學ノ外ニ出ズ學徒尚此理ヲ悟ラヌ况衆人乎  
之長曰數學算學其推輿トスル人ハ何等ノ人ヲイフマ

答曰數學ノ祖ハ包羲氏ナリ仰觀天象俯察地理

而畫八卦生々シテ萬物ノ數備ハル算學ノ祖ハ  
黃帝ノ臣顓首ナリコレヨリ以來算學ヲ以テ世  
ニ鳴ルモノ歴代不少數學ノ隱微ヲ究ルモノ蓋  
シ又鮮シ無<sub>レ</sub>佗<sub>レ</sub>変ニ偏ニシテ中ヲ失ルノ所以ナ  
リ豈可不<sub>レ</sub>惜乎哉

之長又問曰何某ハ算學熟スルノ名人ナリト如  
此ノ人ハ如何ナル<sub>レ</sub>ヲ會得スルマ天文ヲ測リ  
曆ヲ造リ七曜ノ運行日月ノ食ノ如キ皆算術ヲ  
以テ考知ル<sub>レ</sub>ヲ實ニ大ナル<sub>レ</sub>ヲナレ<sub>レ</sub>其算術開平  
方ノ上ニ出ズ田野ノ檢地稅務ノ法則又ハ宮殿

ヲ營ミ城ヲ築クノ類ニ商工ノ器財ヲ作り賣買  
ノ損益ニイタル<sub>レ</sub>テ算術ヲ知ラザル人モ其業  
ヲツトメテ世ヲ渡ル<sub>レ</sub>算術熟スル人ト異ナル  
<sub>レ</sub>ナシ然レバ算道ノ大要トスル所ハ何等ノ<sub>レ</sub>  
ヲイフマ其說ヲ聞ン

答曰足下ノ問フ所甚理ニ中レルニ似タリ世人  
皆此理ニ惑ヘリコレ算道ノ世ニ用ヒラレザル  
所以ナリ然レ<sub>レ</sub>前章ニ云如ク數ハ自然ノ數ニ  
シテ三才ノ道コレヲ免ル<sub>レ</sub>ヲナシ其用タル算  
道ナレバ大要ナクニバアルベカラズ夫レ欽ン



テ命ヲ上帝ニ受ケ百官ヲ率ヘ萬邦ニ莅之萬民  
ヲ撫育シテ四海ヲ統御スルハコレ天子ノ算ナ  
リ治ニシテ乱ヲ忘レズ乱ニシテ治ヲ忘レズ外  
ニ文事アルトキハ内必武備ヲ全フシ外ニ干戈  
ノ変アルトキハ内必文德ヲ脩メコレカ基本ト  
シ用ヲ節シテ民ノ時ヲ奪フコトナク常ニ兵ヲ  
習ハシ武ヲ講シ朝庭ノ干城トナルハコレ諸侯  
ノ算ナリ士農工商各其家業ニ疎カラズ儉約ヲ  
守リ奢リヲ省キ分限相應ノ樂ミヲ以テ身ヲ養  
ヒ日々ニ其業ヲツトメテ家ヲ齊ムルハコレ庶

人ノ算ナリ上天文ニ通シ下地理ヲ察シ致虚守  
靜數學ノ玄々ヲ極メ權變ヲ知リ人事ノ數ニ惑  
ハス數ノ死活ヲ悟ルハコレ君子ノ算ナリ算ヲ  
以テ已ヲ利センコトヲ欲シ怪談ヲ以テ人ヲ惑ハ  
シ譽レヲ求メテ人世ニ迂遠ナルコトヲ好ミ空理  
ヲ設ケ手段ヲ爭ヒ我意ヲ專ラニシテ人ヲ誹リ  
書ヲ讀コトヲ欲セス故ニ野ニシテ文ナリ算學ノ  
人ヲシテ劉累カ徒タラシメ惜ムベキ日ヲ費マ  
シ進ベキ人ヲ滞スハコレ小人ノ算ナリ足下ノ  
アマシム所コトニアタレリ世上ノ算士ミナ以

為萬物ノ形萬象ノ理訂之ニ算術ノ外ニ出ヘカ  
 ラズト故ニ近世術ヲ巧ニシ書ヲ以テ理ノ爭ヒ  
 名人ナリトスル所ノコトヲ視ルニ人世用ユル  
 トコロナキ形ヲエガキ或ハ假ニ言ヲ以テ迂遠  
 ノ理ヲ設ケテ難問ス答フル者モ又數百象方ニ  
 ノホルノ術ヲナシ某ノ答ヲ得ル等ノ如キ譽レ  
 トスル所世ニ益ナキノ事ナリ算道ノ假ニ問ヲ  
 設ケテ導之マ蓋シ武藝ニ假ニ形ヲ設ケテ勝負  
 ノ理ヲオシユルニ似タリ相闘フノトキ敵ノ機  
 変シルベカラズ時ニノソング變化スルニアリ

コレヲ教エント欲スレトヨル所ナシ故ニ豫シ  
 メ其理ヲ具フルノ形ヲ設ケテコレヲミチビキ  
 其理ヲシラシム算亦同シ參差タル萬物其術モ  
 一々萬變ナリコノ理ヲシリテ時ニノソング變  
 化セシガタメニ假ニ問ヲ設ケテコレヲ道キ切  
 磋琢磨ノ種トス然リトイヘト人世アツカル所  
 ノ術ニヲレテハ凡カキリアリ空理ヲ設ケユレ  
 ヲ問ニイタリテハ其理カキリナシ其術モ亦盡  
 キス百年ノ壽ヲ終ルトモツクルヲナシ而シテ  
 脩身齊家治國平天下ニ益ナシ人世アルベカラ